



I.D.E.STOREの店内で、80年代のマウンテンバイクと店主の井手勝さん。

"SABINIKKU" Garage Talk

あらゆる自転車乗りに愛される街の自転車屋でありたい

ヒサゴ株式会社が製造・販売する気化性防錆紙『錆ニク』は、金属製品を錆びさせることなく保管できる強い味方。そんな錆ニクを愛用している自転車業界のプロフェッショナル、“I.D.E.STORE”の井手勝（すぐる）さんを訪ね、お仕事や自転車に対する思いについて話を聞いた。

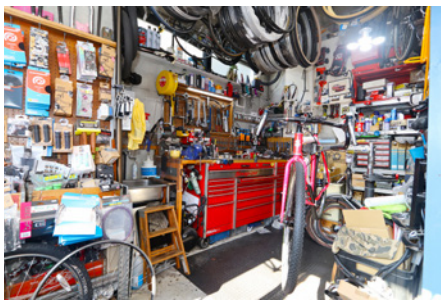
東京・高円寺駅からほど近い中野区の住宅地に自転車店、“I.D.E.STORE”はある。店主の井手勝（すぐる）さんは、日本体育大学で水泳の選手として活躍していた頃に、トレーニングのために乗り始めたことから

自転車の面白さに目覚める。有名ショップでのアルバイトを経て、そのまま自転車業界へ。1998年に神奈川県厚木市に自らの店をオープン。その後念願叶って東京進出、渋谷に店を構える。杉並区の高円寺に移るの

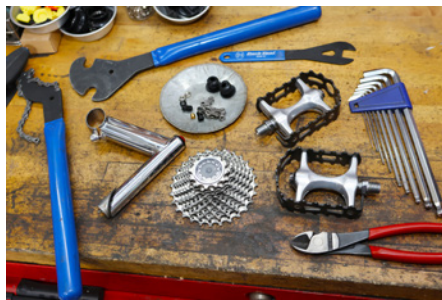
を機に屋号をI.D.E.STORE（アイ・ディー・イー・ストア）にあらためた。建物の老朽化に伴い2021年に現住所に移転した。ここはマウンテンバイク（MTB）、BMX、ロードバイクから、街乗り自転車まで何でもOK。



オシャレな外観のI.D.E.STORE。自転車が並んでいなければカフェのよう。



店舗の約半分が作業場。大型ツールキャビネットはアメリカのSnap-on製。



これらのパーツや工具は鉄製品や一部が鉄製で、錆の心配がついてまわる。



ツールキャビネットの引き出しには錆ニクを敷き詰め、さらに載せている。



鉄製のボルトやナット、ワッシャーは錆ニクとともにファスナー付きPP袋に。



鉄製のスプロケットなどを保管する場合は錆ニクで包み、密封容器へ。

新車販売から整備、修理、カスタムなどをほぼ一人でこなしている。実は筆者も厚木店の頃からお世話になっており、本格的なMTBチューニングから始まり、旧い車両をカスタムしてもらったり、家族の自転車も持ち込んでいるほどだ。

井手さんの店は、その品揃えやディスプレイからも、井手さんのセンスの良さが伺える。自転車以外にも、クルマやバイク、ファッションなどいろいろなことに精通しているこだわりの人だ。店で使っている工具も自転車専用ツール以外は、Snap-onで揃えている。

井手さんが気化性防錆紙『錆ニク』と出会ったのは昨年。かつては鉄製が主流だった自転車のフレームやパーツだが、軽量化や錆びにくさの観点からアルミなど軽合金やカーボンが用いられるようになって久しい。しかし、井手さんの店にはヴィンテージ自転車を持ち込む顧客もあり、スチールパーツのストックがある。また、工具類の多くは鉄製だから、錆には常に悩まされてい

たという。「頻繁に使う工具はいいのですが、たまにしか使わない工具を手にとると錆が浮いていて悲しくなるのです。」だから井手さんは今、愛用のツールキャビネットの引き出しの中に『錆ニク』を敷き詰めて工具を並べ、さらに上からも載せている。「貴重なヴィンテージパーツをはじめ、錆びさせたくないパーツは“錆ニク”と一緒にファスナー付きPP袋や密封容器に入れて保管しています。とても手軽でベタベタすることもない。おまけに密封しておけば2～3年も効果があると言うのですから、ありがたいです！」

取材中も平日だというのに頻繁に顧客が訪れるが、どんな相談ごとにも満面の笑みで応えている。「ご近所さんのパンク修理も大歓迎です。マニアックな自転車好きはもちろん、あらゆる自転車乗りに愛される街の自転車屋でありたいと思っています。」と井手さんは言った。

気化性防錆紙『錆ニク』の情報はここから ▶▶▶



錆ニク バイク

で検索！

Information

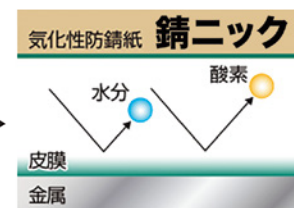
ヒサゴのwebサイトも要チェック！

<https://www.hisago.co.jp>

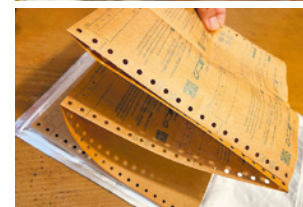


ヒサゴ株式会社

気化性防錆紙『錆ニク』とは？



気化してサビを防ぐ防錆剤が塗工された特殊紙『錆ニク』。サビ止め防錆油のようにベタつくことなく、人にも環境にも優しい。直接包んだり、工具箱やポリ袋、“タッパー”などの密封容器に入れると、気化した防錆剤が金属表面に皮膜を形成、水分や酸素をブロック！鉄、クロム、ブリキ、銅、ニッケルなど金属製品をサビから護る。包むだけで6～12ヶ月、同梱・密封すれば12～36ヶ月、効果が持続する。



「錆ニク」は保管袋としても活用できるチャック付きの遮光性・酸素バリア性の高いアルミ箔袋入り。中身はじゃばら形状でミシン目入り。必要なだけ切り離して使用できる。

